

◆バッチテスト開催にあたっての基本行動

選手	<ul style="list-style-type: none"> ・当日自宅で検温（熱があれば自宅待機） ・リンクでは全員マスク着用(ただし選手のアップ中、演技中はその限りではない) ・リンク滞在時間は可能な限り短く ・常にソーシャルディスタンスを維持 ・リンク入場時、全員検温(37.5℃以上の場合は入場不可)・手指消毒・体調確認の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・2週間前より「健康調査票」記入・当日提出(バッチテスト手帳の受験するページにコーチ、保護者の分も挟んで提出) ・選手一人につき、コーチ最大1人のみ、保護者基本1名のみ(中学生以上の選手の保護者は入場を制限する(会場外で待機)) ・更衣室などソーシャルディスタンスの確保が困難なところは特に気を付ける
役員		<ul style="list-style-type: none"> ・2週間前より「健康調査票」記入・当日提出

◆バッチテストの実施について

	実施する際の対策	必要な物品
テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の間、受験はホームリンクでのみ ・結果発表・講評はしない。手帳で確認。質問はコーチを通し、後日テスト部より回答 ・タイムスケジュールをインストラクターに公開し、リンク入場者数を減らす。 ・同時時間帯の受験者は10名程度まで。リンクの分割は2つまで ・手帳の提出時、混雑するので、密にならぬよう、級ごとに回収等工夫する。 ・日によって級、受験項目(エレメントのみなど)を限定する ・人数制限により、希望者が受験できない場合受験に優先順位をつける。(1)その級を初めて受験する選手、(2)その級を受験したことがある(不合格となったことのある)選手。なかなか受験できない選手が出た場合は、テスト開催回数を増やす等工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ・予備のマスク ・非接触体温計 ・アルコール消毒液 ・ウェットティッシュ ・ペーパータオル ・薄手の使い捨てゴム手袋